

第1回 学校運営協議会 記録

		学校名	横手市立横手明峰中学校
開催日時, 時間, 場所	令和5年5月22日(金) 15:00~ 大会議室		
出席者数	8名	欠席者数	2名
協議案件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭に向けてのバディー練習の参観 ・ 学校経営及びコミュニティスクール基本構想の承認 ・ 今年度の学校行事、総合的な学習の時間、「楽校へ行こう」についての説明 ・ 意見交換 		
<p>○これまでの取組を継続し、今後、実践につなげられそうなこと</p> <p>●時間をかけて慎重に協議をしなければならないこと</p> <p>☆今後の取組への提言等</p>	<p>【学校経営及びコミュニティスクール基本構想について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育目標 ・ チームスローガン「一員ではない、明峰中そのもの」 ・ 合い言葉「一歩前へ 一段上へ」 ・ MHRカリキュラム、SDGs/E SDカリキュラム、コミュニティスクールカリキュラム ・ 身に付けたい7つの能力・態度 ・ 総合的な学習の時間での連携・協働 等 <p>【意見交換】</p> <p>○職場体験において、受け入れ人数の検討も大事だが、今後も「どのような内容にしていくのか」について学校側と綿密な打合せをすることが重要である。</p> <p>☆職場体験には協力していきたいが、最低でも3日間が必要である。仕事の「大変さ」「楽しさ」「面白さ」を教えるためには、1日では不可能である。</p> <p>○今後も総合的な学習の時間における「農業」「産業」「ふるさと」の視点から持続可能な未来について考えを深めるためにも、学校運営協議会委員の皆様のお力添えをお願いしたい。</p> <p>○今年も生徒の考えを社会福祉協議会と連携しながら、「世代を超えた地域交流」をキーワードとして、「楽校へ行こう」をブラッシュアップしていきたい。</p> <p>●望ましい勤労観や職業観を育成するためにも、各学校毎ではなく、県や市が中心となって取り組むことも必要ではないだろうか。</p> <p>○PTAの「P」は人材の宝庫である。今年度の「MEIHO総合文化FES」では、保護者や地域人材を活用した授業を公開する予定である。</p>		
次回の連絡	・ 2回目は11月、3回目は2月に実施する予定。		
記録者	横手明峰中学校 教頭 伊藤充敏		